

アイ・オー・データ機器 環境報告書 2012

Environment Activity 環境への取り組み

対象期間：2011年7月1日～2012年6月30日

CONTENTS

- 01 会社概要、編集方針
- 02 社長メッセージ
- 03 環境方針
- 04 環境マネジメントシステムの状況
- 05 環境に配慮した製品作り
- 06 環境活動
- 07 地域貢献活動、環境コミュニケーション
- 08 データシート

アイ・オー・データ機器 環境情報は

→ <http://www.iodata.jp/company/environment/>

→ または弊社ホームページで

会社概要 Corporate Information

社名 株式会社アイ・オー・データ機器
 設立 昭和51年(1976年)1月10日
 代表取締役社長 細野昭雄
 資本金 3,588百万円
 年商 38,551百万円(連結ベース 2012年6月期)
 株式上場 JASDAQ(コードNo. 6916)
 従業員 576人(連結ベース 2012年6月期)
 541人(単体ベース 2012年6月期)
 業務内容 PC周辺機器全般の開発、製造、販売
 子会社 国際艾歐資訊股份有限公司
 艾歐資訊横山(香港)有限公司
 I-O DATA America, Inc.
 ITGマーケティング株式会社
 関連会社 I-O & YT Pte. Ltd.
 株式会社デジオン
 クリエイティブ・メディア株式会社
 (2012年6月30日現在)



第1ビル



第2ビル

事業案内 Corporate Information

パソコンやデジタル機器をお客様の用途や目的に合わせてカスタマイズする際の良きサポート役、これが周辺機器です。アイ・オー・データ機器は、この分野において、機能性やユーザビリティはもとより、感性に訴えるデザインにいたるまで、市場から高い評価を受けています。高度化・多様化の一途をたどる情報社会の中、約35年に亘り培ってきた技術を用いて、時代を見据えた製品展開により多様なニーズにお応えすることが私たちの不変なる使命であると考えております。お客様一人ひとりの声に耳を傾け、皆様のデジタルライフを支える存在となるべく、アイ・オー・データ機器は挑戦を続けてまいります。

メモリー Memory



動画データの再生や編集、ゲームを楽しむ時も、大容量メモリーの増設で、あなたのパソコン環境もぐっと快適に。先端のDDR3SDRAMはもちろん、サーバー・ワークステーションメモリーまで、豊富なラインアップを取り揃えています。

フラッシュメモリー Flash Memory



携帯電話やデジタルカメラは今や手放すことができない存在。写真画像や音楽データの保存・パソコンへの転送・友人との受け渡しなど、デジタルライフを楽しむ時にも、アイ・オー製品は大活躍。「高性能」と「使いやすさ」をあわせ持ったものだけを提供します。

ネットワーク Network



ネットワークを介したデータ共有や、データのバックアップに適したネットワーク接続ハードディスク(NAS)、そして、快適なデジタルライフに欠かせない無線LANや、携帯通信、次世代ネットワーク対応製品に至るまで、豊富にラインアップ。ホームからオフィスまで最先端のネットワーク環境の構築に貢献します。

ストレージ Storage



あなたの大切なデータを簡単に保存・管理するストレージ(記憶装置)分野でも、アイ・オー製品は市場から高い支持を得ています。最新の規格・メディアに対応したドライブに、アイ・オーならではの工夫を加えて、使いやすさと高い信頼性を兼ね備えた製品を提供しています。

マルチメディア Multimedia



「録る・見る・創る」——映像&音楽を自分だけのライフスタイルで自由自在に楽しんでみませんか。YouTubeをテレビで簡単に楽しめるLinkTVやスマートフォン用ワンセグチューナー、地デジ対応TVキャプチャーなど、パソコンの枠を超えた楽しみを実現します。

液晶ディスプレイ LCD



人とパソコンとの一番大切なインターフェイス「ディスプレイ」。映像をありのままの鮮やかさで映し出す高い色再現性、スマートでスタイリッシュなデザイン、そして環境に配慮した「ECOモード」。これまでの液晶ディスプレイの常識を覆す、最先端の「美」がここにあります。

編集方針 Editorial Policy

東日本大震災から1年が過ぎ、日本国内は電力問題にまつわる話題が絶えない状況が続いています。私たちが他の企業や一般家庭と同様に、事業活動や製品開発の場で省電力をこれまで以上に意識して企業活動に励んでまいりました。省エネ・省電力のための施策を含む、全ての環境保全活動の成果を本報告書にまとめております。今後も日本国内はもとより地球レベルでのよりよい環境を次の世代に残せるよう活動に取り組んでいく所存です。

環境管理責任者

ご意見、お問い合わせはこちらまで…

| | |
|------------|---|
| ホームページアドレス | http://www.iodata.jp/ |
| 連絡先 | 住所 〒920-8512 石川県金沢市桜田町三丁目10番地 E-mail: environment@iodata.jp |
| 発行月 | 2012年9月 |
| 次回発行予定 | 2013年9月 |
| 対象分野 | 環境、社会貢献 |
| 作成部署 | 品質保証部・事業戦略部 広報販推課 |
| 対象範囲 | 株式会社アイ・オー・データ機器・本社第1ビル・第2ビル・アイ・オー・ラボラトリー |
| 対象期間 | 2011年7月1日～2012年6月30日(37期) |



株式会社 アイ・オー・データ機器
代表取締役社長 細野 昭雄

平素は当社の活動に、多大なるご理解とご支援を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の日本は、長引く円高やタイの大規模洪水、欧州金融危機による影響を受けただけでなく、各所で豪雨・竜巻などの自然災害が頻発し、自然やグローバリズムの猛威に翻弄された一年でした。さらに、福島原発事故からの電力不足をきっかけに、日本の電力事情が大きく様変わりし、「節電」「環境保全」へ国民の意識も高まっております。

こうした中、当社では「事業活動と自然との調和共生」を環境方針に掲げ、今後予想される恒常的な電力不足に対応すべく、より省エネルギーな製品・サービスの開発と節電を踏まえたトータル提案に一層の磨きをかけてまいります。事業活動におきましては、ビルの消灯時刻の繰上げや休憩時間消灯の徹底、より省電力な蛍光灯への交換、空調機温度の調整など、消費電力を抑える様々な施策について、従来以上に取組みを推進しております。また、地域の清掃活動といった環境保全活動にも積極的に参加し、これら社員一人一人の地道な活動が環境負荷の低減に寄与しているものと実感しております。

私たちIT業界が“環境に対して果たすべき役割”は、時代とともに変化し、今後も益々拡がるものと考えております。当社は約35年にわたり培ってきた技術力と価値想像力を活かし、パソコン周辺分野において進めてきた環境負荷低減に向けた取組みを、デジタル家電周辺分野、さらに生活分野も視野に入れ、環境面からも『皆様のデジタルライフを支える存在』へと進化を遂げてまいりたいと考えております。

今後もCSR（企業の社会的責任）を重視し、より広い視点で各ステークホルダーの皆様との連携を深め、引き続き企業としての社会的責任を果たしていく所存であります。アイ・オー・データ機器の企業力を一層高めていくためにも、皆様から忌憚のないご意見・ご指導をいただければ幸甚に存じます。

株式会社 アイ・オー・データ機器
代表取締役社長

細野 昭雄

環境方針:事業活動と自然との調和共生

アイ・オー・データ機器は、パソコン周辺機器&デジタル家電のリーディングカンパニーとして情報社会への貢献を企業理念とすると共に、地球環境の保護・保全が世界的な重要課題であることを認識し、事業活動や製品の様々なライフサイクルを通して環境負荷低減を目指し、持続可能な社会の実現に向けて行動する。

■環境行動方針

1. 環境マネジメントシステムの継続的な改善を図り、地球環境の保全・汚染の予防に努める
2. 環境関連法規制、業界の自主規制を順守し、利害関係者の環境への要求事項に対して積極的に取り組む
3. 社外の環境保護・保全活動・行事への協力・支援を通じ社会貢献に努める
4. 環境目標を定め、これを見直しながら以下の活動を推進する
 - (1) 製品の環境配慮設計を推進し、環境負荷の低減に努める
 - (2) 事業活動に使用する電力・灯油などの省エネ活動を実施する
 - (3) 事業活動で発生する廃棄物のリサイクル・適正処理に努める
 - (4) 事業活動で使用する生産材の効率的な利用に努める
 - (5) 環境に関する情報開示に努める
5. 当環境方針は、全従業員及び当社の為に働く全ての人に周知し、また、社外にも公開する

2009年7月

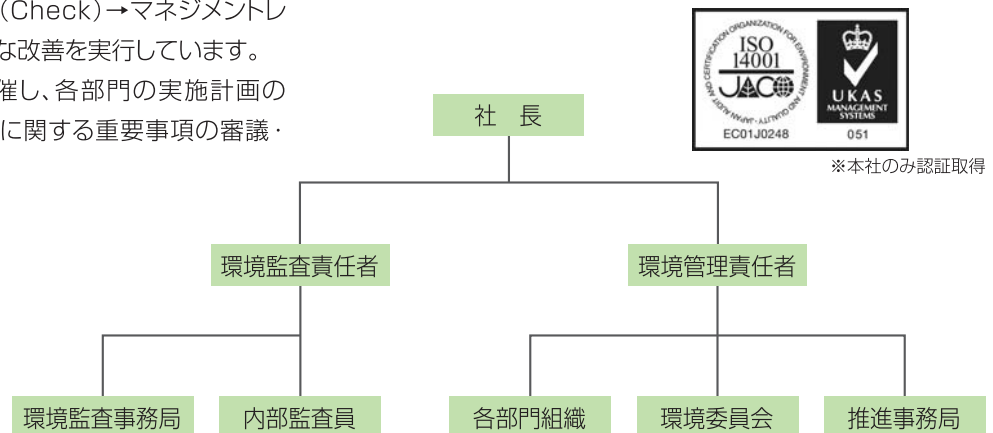
環境目標と実績

| 分類 | 環境方針 | 環境目標(37期) | 目標 | 実績 | 評価 |
|-----------------|----------------------------------|---|-------|-------|----|
| 環境目的・環境目標に関する活動 | (1) 製品の環境配慮設計を推進し、環境負荷の低減に努める。 | 既存製品よりも「低消費電力」となる製品、または「省電力モード」を搭載した製品を37期出荷製品のうち65%以上開発する。 | 65% | 82% | ☺ |
| | | 当社製品含有化学物質管理体制をR社CMS認定に特化した体制から業界標準であるグリーン調達調査共通化協議会JGPSSIに基づいた体制へ見直しする。 対象とする企業はJ社で、監査対象とする委託先をN社とする。 目標値はJGPSSI評点(100点換算)で92点以上とする。 | 92点 | 95点 | ☺ |
| | | 海外環境規制に対応できる基準書を整備する。 対象製品はNAS。地域は中国/台湾/香港/韓国。 | 100% | 100% | ☺ |
| | (2) 事業活動に使用する電力・灯油などの省エネ活動を実施する。 | 本社ビルでの電気・灯油の使用量を31期比で15.0%削減する。(CO ₂ 換算) | 15.0% | 16.0% | ☺ |
| | | 環境配慮をしたシステムの設計・導入を3件実施する。(すでに導入されているシステムの見直しも含む) | 3件 | 3件 | ☺ |
| | (3) 事業活動で発生する廃棄物のリサイクル・適正処理に努める。 | 本社ビルの廃棄物の総排出量を35期比30.0%削減する。 | 30.0% | 45.9% | ☺ |
| | | 本社ビルでの廃棄物を有価物にするための分別を行い、廃棄物を抑制する。買取業者への引き渡し量を前期比5%増加する。 | 5% | 64% | ☺ |
| | (4) 事業活動で使用する生産材の効率的な利用に努める。 | 在庫調整に伴う組替え作業の発生件数を35期比の7%減とする。 | 7% | 9% | ☺ |
| | (5) 環境に関する情報開示に努める。 | 「節電」「エコ」など環境側面へのアプローチを行った製品企画もしくは機能追加を実施した内容について、ユーザーに有効活用してもらうための提案を6件行う。 | 6件 | 8件 | ☺ |

【総評】37期は、全部門目標を達成することができました。管理部、CS部では廃棄物の総排出量削減を長年継続しており、有価物として取引ができるような分別に積極的に取り組み、目標を大幅に達成することができました。また、技術部での省エネ設計や環境配慮設計を事業戦略部がホームページ等でユーザーに提案することで、部門間の連携プレーをうまく形にすることができました。このような部門間の連携や会社全体での取り組みが「見える形」にすることで、今後更なる成果を上げていきたいと思っております。

■ 環境管理体制

2002年1月、地球の環境保全を目的とした国際規格である『ISO14001』の認証を取得し、PDCAのサイクルを基盤とした環境マネジメントシステムを構築しました。環境方針を基に各部門で目標及び実施計画を立て(Plan)→運用(Do)→監査(Check)→マネジメントレビュー(Act)といった継続的な改善を実行しています。また、毎月環境委員会を開催し、各部門の実施計画の進捗状況や報告、教育、環境に関する重要事項の審議・決定を行っています。



■ 内部環境監査

第三者による審査機関による外部監査を受けるとともに内部環境監査員による内部監査を1回/年実施し、環境マネジメントシステムの管理向上を目指しています。

■ 2011年11月に実施した内部環境監査の結果

内部環境監査の結果、不適合及び観察事項の指摘件数が前年に比べ減少しており運用改善が行われています。なお、見つかった不適合は是正処置され一定期間経過後に効果の確認をし、再発防止策を講じています。

| | |
|------|------------------------|
| 不適合 | 1件(2010年 5件、2009年 4件) |
| 観察事項 | 8件(2010年 11件、2009年 5件) |

〔内訳〕
 組織変更等切り替りの問題……………0件
 文書と運用の不整合の問題……………1件
 運用の漏れや不十分な問題……………8件(うち不適合1件)

■ 内部環境監査員の教育

外部講師を招き新たに9名の内部環境監査員を養成しました。これにより有資格者は43名となりました。

■ 金沢エコ推進事業者ネットワーク

本社所在地の石川県金沢市では地域企業との相互協力を目的として『金沢エコ推進事業者ネットワーク』を組織しており、弊社はその幹事会員として活動しています。また同ネットワークが開催する外部講師を招いた節電・省エネ対策などの4回/年のセミナーを受講し、弊社活動に活用しています。

さらにガイドブック作成検討会の一員として、同ネットワーク会員企業向けに省エネや廃棄物削減を進める際に工夫している具体的事例などを盛り込んだ『環境保全活動推進ガイドブック』を作成しました。



『金沢エコ推進事業者ネットワーク』はこちら
 →<http://www.kanazawa-eco.net>

環境に配慮した製品作り

Making eco-friendly products

CD-ROM添付を削減

一部無線LANルーター製品に添付されている、サポートCD-ROMの添付を廃止いたしました。CD-ROMなしでも製品のセットアップが行えるようにすることで、お客様の使い勝手を向上しながらコスト削減、省資源化を実現しました。



対象製品



WN-AG450DGR



WN-G300R



WN-G300TVGR



WN-G150TRK



WN-G150TRW

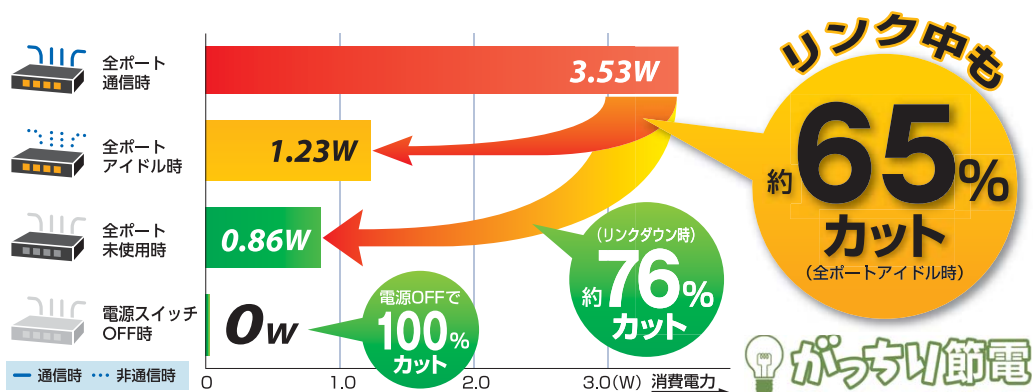
省エネ・省電力にこだわり! がっちり節電ハブ

アイ・オーの「がっちり節電」搭載ハブなら、待機時最大約76%*電力をカットすることができます。昼夜でパソコンの使用状況が大きく変わるオフィスで「省エネ」な環境を提供いたします。

*ETG-ESH08DBシリーズの場合



ポート使用・未使用時の消費電力比較値(ETG-ESH08DBシリーズの場合)



〈測定環境〉電力計: Yokogawa製 WT110、負荷機: Yokogawa製 AE5511、中継機: D-LINK製 DGS-1100-24、ケーブル長: 2m
 〈測定方法〉1518byte、イーサネットフレームのwire rate送受信状態にて測定
 ※LANケーブルで接続された機器同士がIEEE 802.3azに対応している必要があります。

ポートの利用状況に合わせて無駄な電力を節約します

リンク速度検知
リンク速度に応じて、段階的に消費電力を抑える!!

リンクダウン検知
リンクダウンしているポートを検知し、余分な電力をカット!!

ケーブル長感知
LANケーブルの長さを判別し電力を自動で調節!!

EEE 技術を採用

イーサネットリンクの大半はデータ伝送を待つアイドル状態にあり、その時間も常に電力を消費しています。がっちり節電ハブはデータが流れていないアイドル時に消費電力を抑えるEEE (Energy Efficient Ethernet) 技術を採用し、挿したままでも自動的に消費電力を削減することができます。

Energy Efficient Ethernet

*LANケーブルで接続された機器同士がIEEE802.3azに対応している必要があります。

がっちり節電 対応製品



タップ型スイッチングハブ

本体側のケーブル抜けの心配がない、電源ケーブル一体型。手軽に使えるシリーズです。

5ポート
ETG-ESH05DB
シリーズ



8ポート
ETG-ESH08DB
シリーズ



電源内蔵タイプスイッチングハブ

ネットワークの規模によってポート数を選べます。また放熱性の良いメタルボディを採用しています。

8ポート
ETX-ESH08NB
シリーズ



16ポート
ETX-ESH16NB
シリーズ



24ポート
ETX-ESH24NB
シリーズ

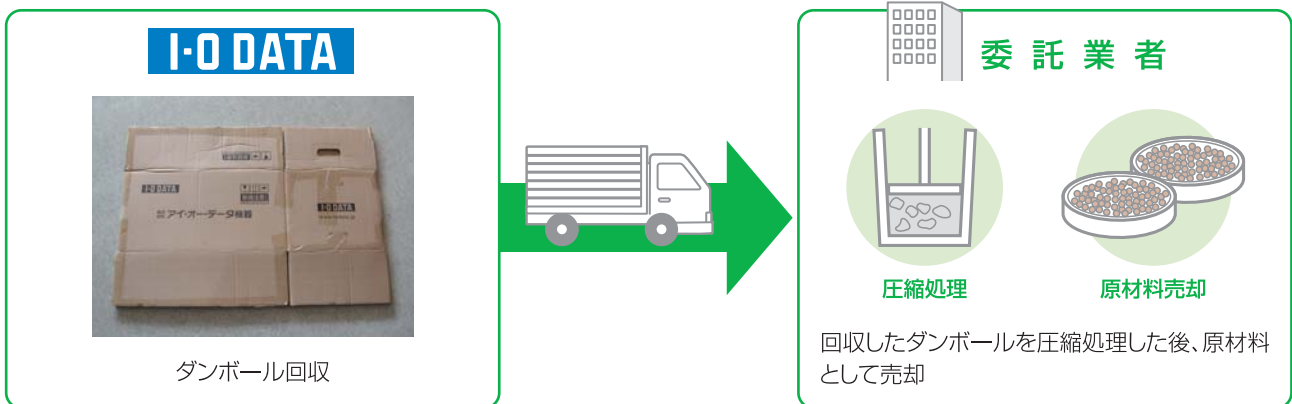


環境活動 Environmental Activity

地球環境に配慮し、様々な環境活動を行っています。

■ 廃棄物の有価物化推進

当社は、廃棄物のリサイクル・適正処理に努める環境活動の中で、廃棄物の有価物化を推進しております。37期は入庫作業などで不要になったダンボール約73tを、リサイクル業者へ売却し、廃棄物の有価物化を進めました。今後も限りある資源の有効活用のためにも、継続して廃棄物の有価物化を推進してまいります。



■ ライトダウンジャパン2012に参加(2012年6月21日～7月7日)

当社は、環境省が呼びかける「CO₂削減/ライトダウンキャンペーン」に毎年参加しており、2012年は活動から10周年を迎え、「でんきを消して、未来をみつめよう」をスローガンに、名称を「ライトダウンジャパン2012」と題しており、昼は館内照明を、夜間はネオン看板のライトダウンを行い、本活動に参加いたしました。



◆ 削減電力 約1,120.8kwhを削減。

CO₂排出量に換算すると、約0.47t-CO₂*の排出量を削減いたしております。

※ 1,120.8kwh(電力使用量)×0.000423t-CO₂/kwh(排出係数)=約0.47t-CO₂

■ 照明器具を省エネタイプに更新

当社は、部門単位でCO₂排出量削減の取り組みを行っています。管理部門では、照明器具の老朽化に伴い、省エネタイプのモデルへ更新しました。更新後の照明器具は従来器具と比較し、照度を変えずに蛍光灯の本数を16本から8本に削減しました。アイ・オー・ラボラトリーでは、蛍光灯108本を消費電力の少ないものへ入れ替えを行いました。両部門ともに消費電力および、CO₂排出量をそれぞれ約20%削減しました。

■ 環境負荷の少ない配送方法(エコ配)を利用しています

自転車等のCO₂排出を行わない配送手段の活用およびカーボンオフセットを組み合わせた、株式会社エコ配の配送サービスを活用しています。

■ 実績(東京オフィス、大阪営業所)

| | |
|----------------|-----------------|
| 対象期間 | 2011年7月～2012年6月 |
| 消費対象個数 | 720個 |
| 削減量(合計) | 240.1kg |
| ①エコ化エリア*1 | 123.9kg |
| ②非エコ化エリア及び本部*2 | 116.2kg |

※1:エコ化エリアとは自転車・台車等、CO₂を排出しない手段での配送を行っているエリアといえます。

※2:非エコ化エリア及び本部とはエコ化エリア以外であって、カーボンオフセットにより排出量をゼロとしているエリアと、エコ配本部をいいます。

CO₂削減の考え方

- 自転車等の活用とカーボンオフセットにより、CO₂排出量をゼロにしています。
- 本サービスをお使いいただくことで、1個あたり約321gを削減したことと同じ効果があります。

※1:各社公表データを元に推計。
※2:2011年における燃料費及び、電気使用量を元に当社推計。

地域貢献活動

Regional Contribution Activity

1 犀川清掃ランニング

- 日時：平成24年5月6日(日) 9:00～
- 主催：犀健会(犀川両岸健康利用推進会)
- 場所：石川県金沢市大豆田大橋広場
- 参加人数：20名

本社社屋横を流れる河川「犀川」を地元のボランティアグループ「犀健会(犀川両岸健康利用推進会)」のみなさんと共に清掃するイベントに参加。当社からは20名が当日朝に集まりました。残念ながら集合時間から雨が降り出し、十分な清掃活動ができなかったですが、社屋周辺の環境美化活動に貢献することができました。

2 海岸清掃「クリーンビーチいしかわ」

- 日時：平成24年5月27日(日) 7:00～8:00
- 場所：専光寺浜(本部) 健民海浜プール前の浜
- 主催：クリーン・ビーチいしかわ実行委員会事務局
- 参加人数：15名

複数の企業、個人が共同で海岸清掃を行う「クリーンビーチいしかわ」に企業として参加しました。当日は天候にも恵まれ、十分な時間と人数で目的の清掃範囲(金沢市内海岸線約9km)を約1時間で清掃完了しました。

海岸線は一見してごみは少ないように見えても、漂着物や廃棄物が多数落ちており、主催より支給されたごみ袋を持ちながら各員が沢山のごみを拾うことができました。



環境コミュニケーション

Environmental Communication

お客様の環境への関心の高まりに応えるため、コーポレートサイトに節電対策コンテンツ「Save Energy 小さな節電が日本を救う」を開設しました。

当社の省エネ対策製品の紹介に止まらず、広くオフィスにおける節電ノウハウを解説するコンテンツとすることで、ご覧になったお客様からは好評をいただいています。

「Save Energy 小さな節電が日本を救う」

URL : <https://service.iodata.jp/solution/setsuden/>
2012/6/27公開



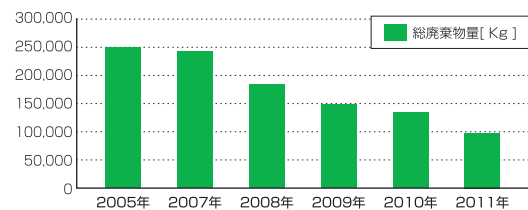
主要な環境パフォーマンスの指標の推移 ※1

| 報告対象期間(期=7/1~翌6/30) | | 2005年 | 2007年 | 2008年 | 2009年 | 2010年 | 2011年 |
|------------------------------|-------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 項目 | 単位 | | | | | | |
| 電力使用量(本社のみ) | 1,000kwh | 1,795 | 1,748 | 1,741 | 1,711 | 1,661 | 1,653 |
| 電力使用量(営業所含む) | 1,000kwh | - | 2,152 | 2,125 | 2,007 | 1,954 | 1,926 |
| 灯油使用量 | kℓ | 195 | 159 | 150 | 150 | 160 | 146 |
| CO ₂ 排出量(本社のみ)※2 | t-CO ₂ | 1,244 | 1,134 | 1,108 | 1,097 | 1,100 | 1,062 |
| CO ₂ 排出量(営業所含む)※2 | t-CO ₂ | - | 1,292 | 1,259 | 1,213 | 1,214 | 1,169 |
| 一般廃棄物 | kg | 192,810 | 159,440 | 125,495 | 97,090 | 103,955 | 79,810 |
| 産業廃棄物 | kg | 67,864 | 84,112 | 58,972 | 51,229 | 31,174 | 18,535 |
| リユース | kg | 54,791 | 44,228 | 62,629 | 79,059 | 56,566 | 62,055 |
| 有価物 | kg | 0 | 207 | 5,197 | 19,566 | 31,297 | 68,251 |
| 総排出量 | kg | 315,465 | 287,987 | 252,293 | 246,944 | 222,992 | 228,650 |
| グリーン購入率 | % | 92% | 94% | 92% | 93% | 94% | 97% |

※1:報告が必要な温室効果ガス(非エネルギー起源CO₂、メタン、N₂O、HFC、PFC、SF₆)の排出はありません。
 ※2:CO₂排出量のうち、電力の排出係数は、平成23年度排出量算定用電気事業者別排出係数の実排出係数にて全報告期間を見直ししております。

廃棄物の削減

| 廃棄物(不要物)の削減 | | 2005年 | 2007年 | 2008年 | 2009年 | 2010年 | 2011年 |
|-------------|----|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| リサイクル率 | 目標 | 80% | 84% | 90% | 93% | - | - |
| | 結果 | 😊 80% | 😊 87% | 😊 92% | 😊 94% | - | - |
| 総廃棄物量の削減 | 目標 | - | - | - | - | 25% | 30.0% |
| | 結果 | - | - | - | - | 😊 26% | 😊 45.9% |
| 総廃棄物量 [Kg] | | 250,481 | 243,552 | 184,467 | 148,319 | 135,129 | 98,345 |

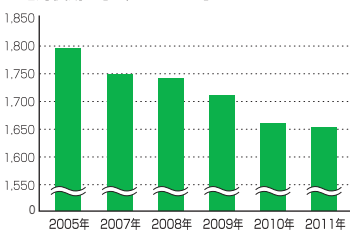


温室効果ガスの削減

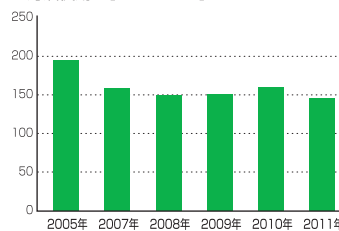
| 電力・灯油の削減 | | 2005年 | 2007年 | 2008年 | 2009年 | 2010年 | 2011年 |
|---|----|--------|--------|---------|---------|---------|---------|
| CO ₂ 換算での削減(2001年比) | 目標 | 6% | 5.5% | - | - | - | - |
| | 結果 | 😊 3.8% | 😊 7.3% | - | - | - | - |
| CO ₂ 換算での削減(2005年比) | 目標 | - | - | 10.0% | 10.0% | 12.0% | 15.0% |
| | 結果 | - | - | 😊 11.6% | 😊 13.3% | 😊 13.4% | 😊 16.0% |
| 電力使用量 [1,000kwh] | | 1,795 | 1,748 | 1,741 | 1,711 | 1,661 | 1,653 |
| 灯油使用量 [キロリットル] | | 195 | 159 | 150 | 150 | 160 | 146 |
| CO ₂ 排出量 [t-CO ₂] ※3 | | 1,244 | 1,134 | 1,108 | 1,097 | 1,100 | 1,062 |

※3:CO₂排出量のうち、電力の排出係数は、平成23年度排出量算定用電気事業者別排出係数の実排出係数にて全報告期間を見直ししております。ISO14001の認証範囲である本社の目標と結果です。

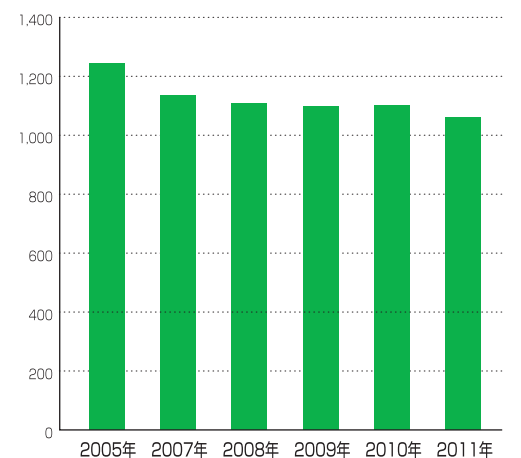
●電力使用量 [1,000kwh]



●灯油使用量 [キロリットル]



●CO₂排出量 [t-CO₂] ※3



製品回収リサイクルの実績

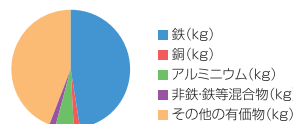
●資源有効利用促進法に基づく実施状況 液晶ディスプレイ

| 期間 | 家庭系事業系 | 回収重量(kg) | 回収台数(台) | 再資源化処理量(kg) | 資源再利用率(kg) | 資源再利用率(%) |
|-----------------|--------|----------|---------|-------------|------------|-----------|
| 2007年4月~2008年3月 | 事業系 | 640 | 119 | 4,100 | 3,540 | 86.6 |
| | 家庭系 | 3,460 | 640 | | | |
| | 合計 | 4,100 | 759 | | | |
| 2008年4月~2009年3月 | 事業系 | 1,050 | 194 | 4,950 | 4,250 | 85.9 |
| | 家庭系 | 3,900 | 721 | | | |
| | 合計 | 4,950 | 915 | | | |
| 2009年4月~2010年3月 | 事業系 | 1,131 | 209 | 9,051 | 7,827 | 86.5 |
| | 家庭系 | 7,920 | 1,464 | | | |
| | 合計 | 9,051 | 1,673 | | | |
| 2010年4月~2011年3月 | 事業系 | 1,022.5 | 189 | 11,566.6 | 9,593.1 | 82.9 |
| | 家庭系 | 10,544.1 | 1,949 | | | |
| | 合計 | 11,566.6 | 2,138 | | | |
| 2011年4月~2012年3月 | 事業系 | 741.2 | 137 | 13,314.0 | 11,016.9 | 82.7 |
| | 家庭系 | 12,572.8 | 2,324 | | | |
| | 合計 | 13,314.0 | 2,461 | | | |

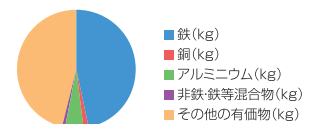
●家電リサイクル法に基づく実施状況 液晶式テレビジョン受信

| 期間 | 指定引取場所での引取台数(台) | 再商品化等処理台数(台) | 再商品化等処理重量(kg) | 再商品化重量(kg) | 再商品化率(%) |
|-----------------|-----------------|--------------|---------------|------------|----------|
| 2010年4月~2011年3月 | 399 | 296 | 3,575 | 2,962 | 82% |
| 2011年4月~2012年3月 | 481 | 540 | 7,700 | 6,566 | 85% |

●再商品化重量(内訳) 2010年4月~2011年3月



●再商品化重量(内訳) 2011年4月~2012年3月



※特に指定のない場合、表内の年の表記は、当年の7/1から翌年の6/30までとなります。